

長谷エグループの細田工務店と、安井空工務店にて 湯川秀樹博士旧宅の改築工事に着手

～安藤忠雄建築研究所の設計で博士が住まわれていた頃に復原・機能付加し、京都大学が継承～

株式会社長谷エコーポレーション(本社：東京都港区、代表取締役社長：池上 一夫)は、湯川秀樹博士(※1)が晩年を過ごした京都・下鴨神社近くの旧宅(※2)を、博士の功績・足跡を後世に伝え、これからのわが国の科学・技術・芸術の発展、人材育成のための施設として有効に活用していきたいという国立大学法人京都大学(総長：湊 長博)の考えに賛同し、企業の社会的責任のもと本旧宅を取得の上、2021年8月に京都大学へ寄付いたしました。

今般、博士とのゆかりを感じさせる部分を残しつつ、今後求められる機能に応じて新しい要素を付け加えることで魅力を増し、後世に伝えていくという改築工事に着手致しました。改築設計は、本寄付活動に賛同頂いた株式会社安藤忠雄建築研究所にてご担当頂き、長谷エグループで木造戸建住宅の建築・リフォーム事業を主力とする株式会社細田工務店(本社：東京都杉並区、代表取締役社長：野村 孝一郎)と株式会社安井空工務店(本社：京都府向日市、代表取締役社長：安井 洋)(※3)にて改築工事を担当いたします。尚、本改築設計並びに改築工事も寄付の一部となります。

(※1)1949年(昭和24年)日本初のノーベル(物理学)賞受賞。日本の科学技術の発展に優れた功績のあった学者。

(※2)晩年の24年間に暮らした住宅で、弟子や各界識者との交流や非核平和運動について思索を深めた場所。

(※3)創業元禄元年(1688年)。堂宮、数寄屋等の純日本建築のみならず、近代建築の設計・施工にも取り組み。

【改築工事概要】

所在地：京都市左京区下鴨泉川町6-5

交通：京阪鴨東線「出町柳」駅 徒歩10分

敷地面積：727.40㎡(220.03坪)

延床面積：358.18㎡(108.34坪) <改修後>

構造・規模：木造2階建

工事内容：保存部分 外部：現状維持若しくは補修・補強のうえ存置(街並みを残す)

内部：博士が住まわれていた頃に復原保存(耐震改修を含む)

増築部分 現代の工法(木造軸組工法)にて増築

設計：株式会社安藤忠雄建築研究所

施工：株式会社細田工務店(長谷エグループ)・株式会社安井空工務店

工期：2023年4月～2024年3月(予定)

【整備コンセプト】

- 「湯川博士とのゆかりを感じさせる部分=重要な部分」として、博士が主に過ごされ思索を巡らせたり、様々な活動をされた座敷、次の間、書斎兼応接室、新書斎、そこから眺めた主庭、主庭から見た主屋の風景を保存し、継承する。
- その上で、建物の新たな中心となるロビーを主屋西側に、大学の賓客対応に必要な機能を敷地一杯に伸びる南側の棟として増築し、新たな現代木造建築として再構築する。
- 下鴨泉川町の街並み、湯川秀樹旧宅のある風景を形成してきた土蔵、西側塀、南側・東側の植栽を残すことにより、昭和初期の近代洋風住宅の屋敷構えを継承するとともに、当住宅単体のみならず街の景観に寄与することを目指す。

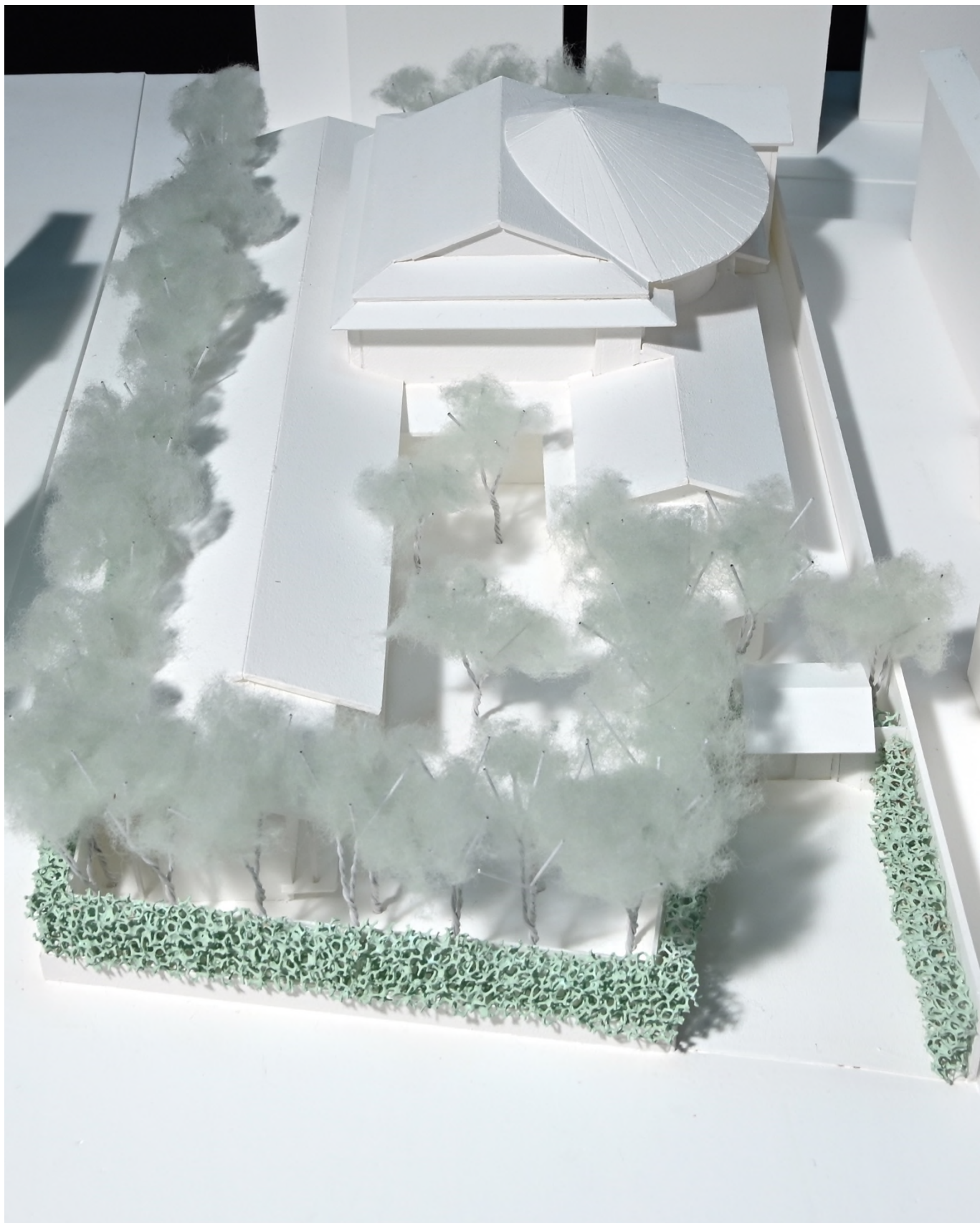
【完成予想】



【座敷から主庭 パース】



【庭から主屋 パース】



【模型写真】